

松本市の重点区域における施策・事業概要

松本城南・西外堀復元事業



南外堀事業箇所の現状



西外堀事業箇所の現状

南・西外堀の復元整備により、松本城と城下町が一体となった歴史的景観を創出し、城郭としての風格や魅力の向上を図る。



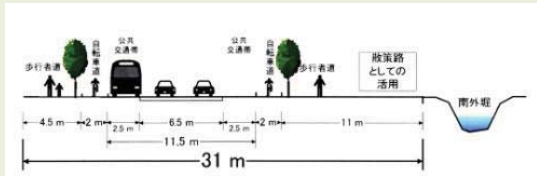
事業位置の現状(上空から)

都市計画道路内環状北線整備事業

通過交通の分散を図り、歩道を広く確保し、居住者の利便性や観光客の回遊性を高め、隣接する外堀復元事業と連携し、電線類の無電柱化などで歴史的景観に配慮した整備を行う。



事業箇所の現状



整備計画面

思いやりゆずりあいゾーン事業

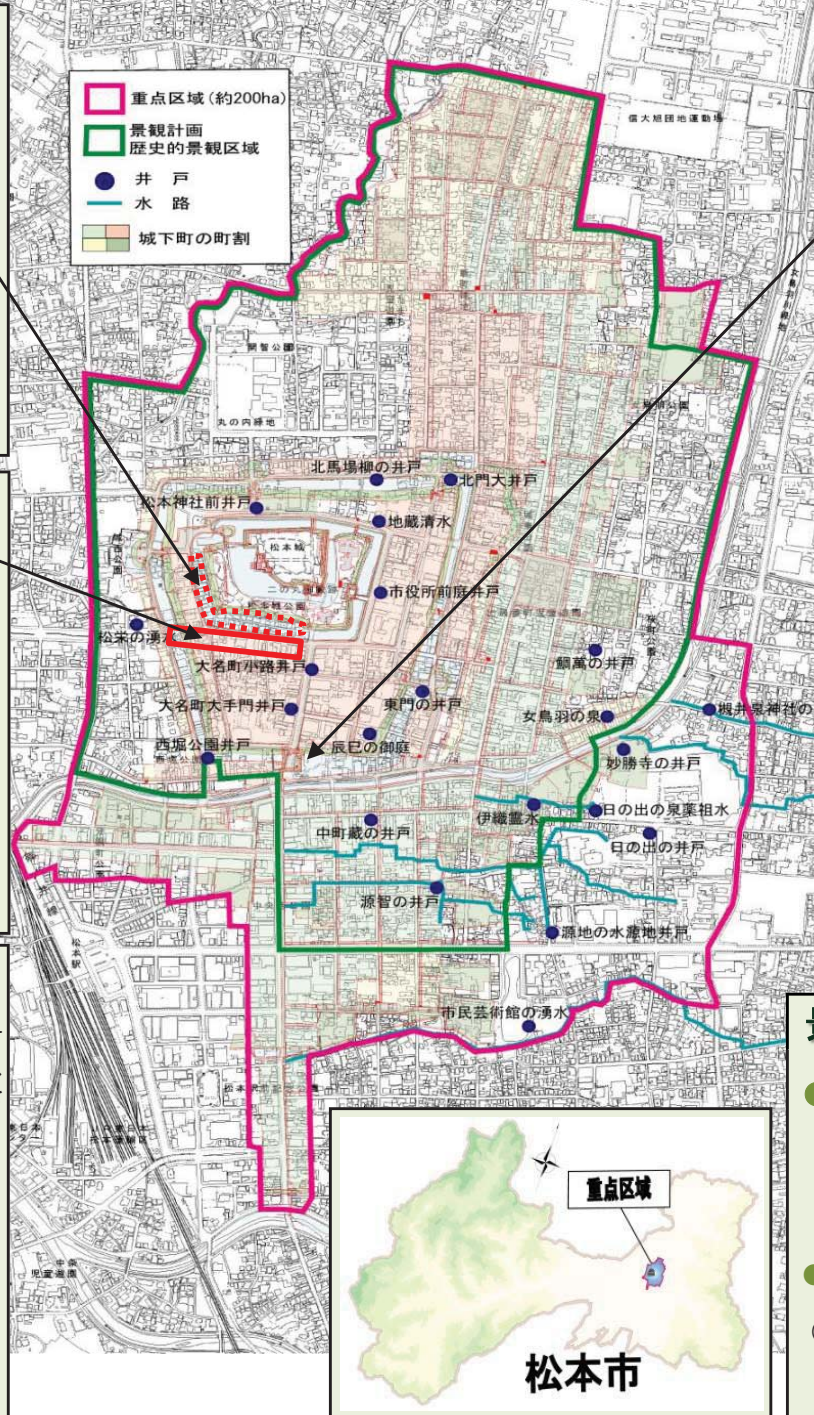
歩行者、自転車利用者の視線で、限られた道路空間を再配分することにより、人、自転車、車が共存できる空間整備を行い、徒歩、自転車の移動のネットワークを形成し、安心して回遊できる環境を整える。

人々の活動においても、安心して安全に活動できる空間が生まれ、歴史的風致の維持向上が図られる。



整備例(路側帯の確保カラー舗装)

- 車道幅の見直し
- 路側帯の確保
- 路側帯のカラー舗装
- 休憩場所(ベンチの設置)の確保



松本城大手門枡形周辺整備事業

大手門枡形は、城下への南の入り口として造られ、当時の都市構造を現在に伝える貴重な歴史遺産であり、この場所の用地を確保し、市民のいこいの空間として整備することにより、今後の城下町整備の機運を高め、城下町の回遊性の向上を図る。



事業箇所の現況



整備イメージ案

水めぐりの井戸整備事業

松本の歴史的風致をなす湧水の活用をさらに広め、観光資源や市民の水汲み場として利用することにより、新たな回遊ルートの創出などで、歴史的風致の維持向上を図る。

個人所有の井戸の整備費に補助金を交付し、井戸利用の促進を図り、井戸を活用した緑とうるおいある快適な住環境の創出を推進する。



整備例(井戸改修)

景観形成に関する施策

●景観計画

地域の特性や住民の意向を反映させるため、地域住民の合意を得ながら景観形成基準(行為制限)の上乗せを随時追加して行く。

さらに、建築物の高さ制限については、より実効性を高めるため、高度地区、地区計画等の都市計画決定をめざす。

●屋外広告物

条例の周知に取組むとともに、市民意識の高揚に努め、松本市の多様な景観(自然、山岳、田園、市街地、城下町など)の保全や形成をめざす。

